

三月——今年度もこれでひと区切り、忙しさの中にも、何かほっとする月です。十二月の気せわしさと違い、保育室のかたづけをしても、いろいろな思いが頭をめぐります。あの時こんな事があった、あの子があんなことを言った、もっとうすれば良かった……。保育者の感傷をよそに、子ども達はほこらしげに、慣れ親んだ環境をあとにして、新しい生活へはばたこうとしています。その子ども達の充実感がうれしくて、三月は涙があふれます。

久々に、牛島義友先生より巻頭言をいただきました。教育の理想と現実の教育行政のずれの間で、幼稚園や学校をどう選択するか、又、選択の自由はあるのか親としても、とても関心のあることです。

今月は八風Vをテーマに、いろいろなお立場から書いていただきました。

そよ風、春風、初夏の風、台風、木枯し、空っ風……それぞれ特徴があり、季

節を感じさせます。又、風は実際に吹く風だけでなく、いろいろなたとえにも使われます。心の中を風が吹きぬける、風向きが変わる、風当たりが強い、風通しが良い、無風状態、等々。

風は全てを吹きとばし、新しい空気を運んできてくれます。そして又、どこかへ通りぬけて行ってしまいます。

「子どもは風の子」といわれますが、冷たい北風の中でも元気に遊びまわる子どものイメージに加え、何か新しいものを運んできてくれる、又、新しいことに向かっていく、そんな「風の子」も感じられます。

それにしても、上原那奈世先生の行動力には感心しました。五十歳にして、バイクで北海道の原野を走りぬける……、何とカッコイイ!! 「大人も風の子」になれるんですね。私も風に向かって丸い背中をしゃんとのぼして……。とりあえず、カゼをひかないように、からでしゅうか。

(K)

## 幼児の教育

第九十巻 第三号

(一九九一年三月号)

定価四一〇円(本体三九八円)

平成三年三月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五十二二二

発売所 株式会社フレール館

東京都千代田区神田小川町三二

振替口座 東京九一一九六四〇

電話 〇三三三三九二二七七八一

●本誌購読のご注文は、発売所フレール館にお願いたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。